

心のつながりシート



道徳と美術の授業でつくった

「コロナに負けないカルタ」



国立駅旧駅舎

コロナ禍での中学生の考えや思いを言葉と絵で表現しました。多くの方に見ていただくとうと旧駅舎内の展示を企画しました。



「コロナに負けないカルタ」



展示中(1/29~2/1)の駅舎内の様子



臨時休業明け、学校生活が様変わりし、生徒たちは慣れることで精いっぱい毎日でした。そのような中、道徳の授業で、新型コロナウイルス感染症に関する不安や差別・偏見が生じていることを学び、自分たちがとるべき行動について考え議論しました。その後、美術の授業で、コロナ禍にある自分の気持ちと再度向き合い、仲間の気持ちを知り、カルタでどんなことを伝えるか、何を発信するかを考え、それにふさわしいデザインや色彩等の構図を練り、完成させたのが今回の「コロナに負けないカルタ」です。

生徒からは『みんなで頑張ろう。』『元気のない人は、ストレスに強い自分が支える!』『医療現場、宅配業者、スーパー等で働く方々に感謝を伝えたい。』など、大人が励まされるような言葉がたくさん飛び出しました。中学生の若さ、真っ直ぐさ、たくましさに元気をもらいました。これを保護者の方々や地域にも発信しようと今回の展示を企画し、実施しました。

「個性が光っていて、いろんな目線での表現に驚きました。」「すごく素敵でほっこりした気持ちになりました。」「力作です。込めた思いが伝わってきます。大人もがんばります。」「見ていて涙がでてきました。ありがとう。」など、保護者や地域の方々、展示を見てくださった方々から多くの感想をいただきました。